

2022 年度自己点検・自己評価

大阪国際外語学院

校長 奥村 登紀

5：達成している 4：ほぼ達成している 3：どちらともいえない 2：取り組みを検討中 1：改善が必要

1. 教育理念・目的等に関する評価

| | |
|--------------------------|---|
| 1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか | 5 |
| 1-2 学校の特色は何か | 5 |
| 1-3 学校の将来構想を抱いているか | 5 |
| 1-4 理念に基づく教育が行われているか | 5 |

*実施策

学校設立の理念と目標；「国際社会で活躍できるグローバルな人材の育成」を通じて、若者たちが未来に描く夢の実現と国際社会の発展に貢献することを使命とする。

学生の文化に対する尊重（多文化への理解）として公欠制度を一新した。

2. 学校の運営に関する評価

| | |
|---|---|
| 2-1 運営方針は定められているか | 5 |
| 2-2 事業計画は定められているか | 5 |
| 2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか | 5 |
| 2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか | 5 |
| 2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 4 |
| 2-6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されているか | 4 |
| 2-7 危機管理体制は整備されているか | 4 |
| 2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか | 5 |

*実施策

理事長・副理事長及び専任教職員が日常的に情報共有を行うことで、教学を含む業務体制の点検・改善に努めていく。

校外活動（進学説明会参加）時の感染予防対策の徹底。

3. 教職員に関する評価

| | |
|--------------------------------|---|
| 3-1 教育理念・目的が教職員間で共有されているか | 5 |
| 3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか | 5 |
| 3-3 教職員評価を行っているか | 4 |

*実施策

新任教師には教務主任が授業案について助言・指導を行うと共に、教師間の授業見学を推奨し、授業能力の向上・改善に努める。

教材の共有化、教材開発を進める。

4. 教育活動に関する評価

| | | |
|-----|-------------------------------------|---|
| 4-1 | カリキュラムは体系的に編成されているか | 5 |
| 4-2 | 授業評価の実施・評価体制はあるか | 5 |
| 4-3 | 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか | 5 |
| 4-4 | 成績評価は適切に行われているか | 5 |
| 4-5 | 資格取得の指導体制はあるか | 4 |

*実施策

日本語の習得度に基づくクラス編成を行い、教務主任が全体のカリキュラム編成と授業日程の作成に直接あたること、体系的な教育活動がはかれるよう努める。日本語能力試験、日本留学試験に対応した授業計画を実施する。

教務における業務効率化としてクラウドサービスを取り入れる。

学生の評価は学習態度と学習理解度の両面から総合的に判断する。

5. 学校運営に関する評価

| | | |
|-----|---|---|
| 5-1 | 進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか | 5 |
| 5-2 | 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか | 5 |
| 5-3 | 学生の心身の健康管理・自己・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能しているか | 5 |
| 5-4 | 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか | 5 |
| 5-5 | 保護者と適切に連携しているか | 3 |
| 5-6 | 卒業生への支援体制はあるか | 5 |
| 5-7 | 入国・在留関係の指導と支援が適切に行われているか | 5 |
| 5-8 | 日本を理解するための支援が適切に行われているか | 5 |

*実施策

新入生を対象とした健康診断を行い、寮生活者には定期的に生活状況の確認を行う。出席状況、学習態度等に問題のある学生の保護者には連絡を取り、改善を促すよう努める。卒業生の進学・就職についても、専任教員と協力し細かく支援に当たる。

なお、学生の母国語を活かせる者がいない場合は、保護者との連携に支障が生じることもある。その場合は、外部協力者（理事の知人や仲介業者）に協力を依頼している。

定期的な進学ガイダンス実施。

大学・専門学校の進学説明会の参加。

定期的な学生との個別面談の実施。

6. 在留管理と生活指導に関する評価

| | | |
|-----|-----------------------------|---|
| 6-1 | 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか | 5 |
| 6-2 | 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか | 5 |
| 6-3 | 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか | 5 |
| 6-4 | 常に最新の学生情報を把握しているか | 5 |

*実施策

留学生をめぐるトラブルに適切に対応し、またこれを未然に防ぐため、所轄警察署（大阪西淀川区）及び大阪入国管理局と緊密な連絡を実施する。

複数の入管業務申請取次者の配置。

学生の生活上の問題に関する面談実施。

7. 学生の募集と受け入れに関する評価

| | |
|---------------------------------|---|
| 7-1 学生の受入方針は定められているか | 5 |
| 7-2 学生募集活動は、適正に行われているか | 5 |
| 7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 5 |
| 7-4 入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか | 5 |
| 7-5 適正な定員設定及び在籍者数になっているか | 5 |

*実施策

現地の日本語学校、送出国から紹介された学生については面接を行う。また学生の紹介を受けた機関については、入学後の学生の素行等も踏まえて翌年度以降の提携を随時見直し、質の確保に努めていく。定員については、国籍ごとの入国状況を踏まえてほぼ毎年見直しを行い、変更時には遺漏なく関係諸機関に申請及び報告を行う。

コロナ禍のためオンラインで面接を実施。

8. 財務に関する評価

| | |
|------------------------------|---|
| 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 5 |
| 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 5 |
| 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか | 5 |
| 8-4 財務情報公開の体制整備はできているか | 4 |

*実施策

開設年度は財務面では学生数が少ないため指標は厳しいが、今後クラス増に伴い、財務基盤は安定していく。当面、生徒数100名になれば経営的に安定できると言える。

コロナ禍のため未入国の生徒がいるが収束すれば安定する。

9. 法令等の遵守に関する評価

| | |
|--------------------------------|---|
| 9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 5 |
| 9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられている | 5 |
| 9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に務めているか | 5 |
| 9-4 自己点検・自己評価結果を公開しているか | 5 |
| 9-5 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか | 5 |

*実施策

第三者評価への移行に向けた取り組みを推進する。

ホームページにて公開する。

10. 社会貢献に関する評価

| | |
|---------------------------------|---|
| 10-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか | 2 |
| 10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか | 2 |

***実施策**

地域の住民と共にスポーツ・文化行事等への参加協力を推進し、またボランティア活動も奨励・支援を推し進める。

コロナ禍ではあるが、地域及び日本語学校間で連携し留学生への社会貢献を推進する。